

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

「食べる幸せ」のサポートに

要介護者が増加している中、食べる機能の低下による誤飲によって肺炎などを発症し、状態が重症化する患者さんが増えています。

そこで当院では「摂食嚥下^{えんげ}サポートチーム」を結成し、多職種で共同して、食べる機能が低下した患者さんへの食支援に取り組んでいます。食べ方や食事の形態、食事姿勢などを工夫し、安全に口から食べられるようにするためのケアを行っています。

このような患者さんが、退院した後もケアが継続できるように、県中地区で「摂食嚥下連絡票」が考案されました。これは、病院とケアマネージャー、介護職が情報を共有するための連絡ツールです。

当院では、昨年6月から摂食嚥下サポート

チームが中心となり、連絡票の運用を開始しました。連絡票がより活用されるように、介護に携わる方々への普及活動も行っています。

今後、要介護者の方々の「食べる幸せ」を地域全体で支えられるように、当院が中心となって、支援していきたいと思います。

※摂食嚥下とは、食べものを認識してから、口を經由して胃の中へ送り込む、一連の動作のことです。

摂食嚥下障害看護認定看護師 菊池知美

☎ 公立小野町地方総合病院

☎ 72-3181

地域包括支援センターからのお知らせ

いつまでも住み慣れた地域で暮らすために



令和3年度の小野町自立支援型地域ケア会議が昨年11月19日、役場分庁舎講堂で開催されました。

小野町地域包括支援センターから3事例を提供し、専門職(薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士)から、運動・口腔・栄養などの観点から、事例に応じて助言をいただきました。

今後も地域包括支援センターでは、よりよいケアマネジメントの提供と小野町に不足する資源の発見に、力を入れて取り組んでいきます。

自立支援型地域会議とは？

「困っていることを解決する」「できなかったことができるようになる」「ご本人のこうなりたいをかなえる」ために、どうしたら達成できるかをみんなで一緒に考える会議です。

☎ 小野町地域包括支援センター

☎ 72-2128